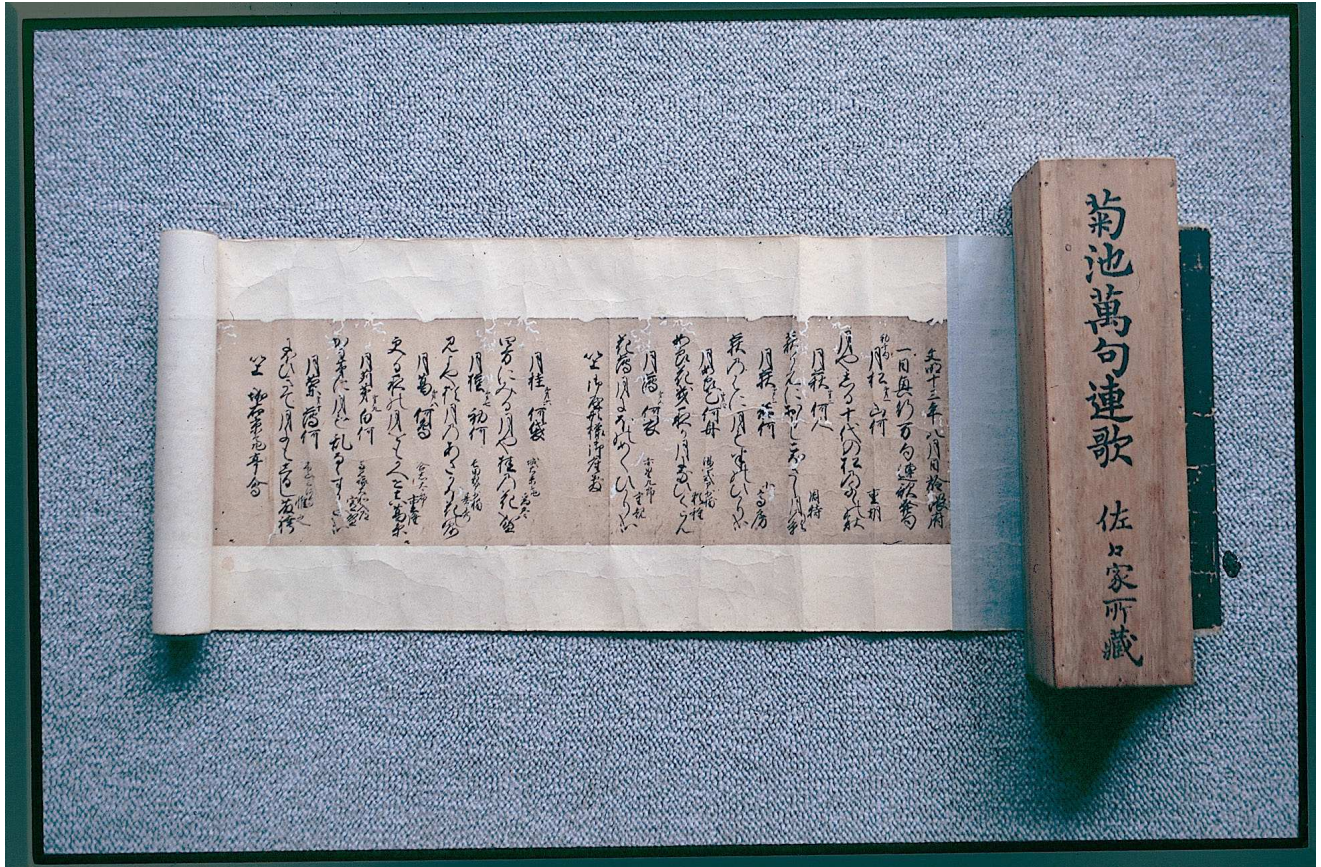


市指定文化財<古文書>

きくちまんく
菊池万句

指定日 昭和46年9月19日

所在地 菊池市木庭



木庭の佐々家に『菊池萬句連歌』という巻物が保存されている。

文明13年（1481）の秋、隈府にて一日一万句の連歌の会が開かれ、21代重朝の屋形をはじめ、城右京亮、隈部上総介、竹崎伊豆守らの重臣の邸宅など20箇所句座が設けられ、「月松」「月萩」などのように、すべて「月」にちなんだ句題で、一日に一万句を詠んだ。この連歌の会で詠まれた句のことを古くから「菊池万句」という。

この万句の中から各句座の代表句百句を弘治2年（1556）、城親賢が書き写したのがこの巻物である。書き出しは「文明十三年八月日於隈府一日興行万句連歌発句」となっている。この連歌の中には、一族の武士をはじめ、僧侶・神官など百人の句がのせられている。

『菊池風土記』には「右揃の万句は隈部忠直著者にて藤崎宮に奉納有しと承る」と記されている。